

| 授業科目名 | 授業形態 | 単位数 | 担当教員名 |
|-------|------|-----|-------|
| 教育課程論 | 講義 | 2 | 宇賀神 一 |

【ディプロマポリシーとの関連】

<認知的領域(知識・理解)>

3. 保育者・教育者として、幅広い教養を身につけている。

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ: 学習指導要領を基準として小学校で編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解する。また、小学校の実情に合わせたカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。

到達目標:

- ①学校教育において教育課程がもつ役割・機能・意義を説明することができる。
- ②教育課程編成の基本原則および学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を記述することができる。
- ③教科や学年をまたいでカリキュラムを構想することができる。
- ④学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を述べることができる。

【授業の概要】

まず、教育課程編成の原理の変遷など基本的な事項について学ぶ。つぎに、日本の教育課程を歴史(近現代史)的に考察し、その特徴や意義を理解する。適宜、これらの日本の教育課程の核となる「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」について理解を深める。

授業はレジュメを用いながら、各回のテーマを中心に講義を行うとともに、必要に応じて映像資料を用いる。なお、講義内容や進度は、受講生の理解度や授業態度・姿勢に応じ変更することがある。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション

事前学修課題: シラバスの熟読のうえ、現時点での教育課程についての認識を整理する。【1時間】

事後学修課題: 配布された資料を各自でまとめ、理解する。【1時間】

2. 教育課程編成の基本原則

事前学修課題: ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心をもち、学校教育において教育課程がもつ役割・機能・意義に関する情報を得る。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

3. 社会における教育課程の役割と機能

事前学修課題: ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心をもち、学校教育において教育課程がもつ役割・機能・意義に関する情報を得る。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

4. 学力と教育課程

事前学修課題: ニュースや新聞などの教育・子ども・学校に関する記事に関心をもち、学校教育において教育課程がもつ役割・機能・意義に関する情報を得る。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

5. 近現代日本の教育課程のあゆみ① —ペスタロッチ、ヘルバルト、大正自由教育など—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育課程編成の基本原則および学校の教育実践に即した教育課程編成の方法についての理解を深める。

【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

6. 近現代日本の教育課程のあゆみ② —経験主義の影響—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育課程編成の基本原則および学校の教育実践に即した教育課程編成の方法についての理解を深める。

【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

7. 近現代日本の教育課程のあゆみ③ —系統主義への転換—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育課程編成の基本原則および学校の教育実践に即した教育課程編成の方法についての理解を深める。

【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

8. 近現代日本の教育課程のあゆみ④ —現代化から人間性重視へ—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教育課程編成の基本原則および学校の教育実践に即した教育課程編成の方法についての理解を深める。

【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

9. 近現代日本の教育課程のあゆみ⑤ —新学力観の追求—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教科や学年をまたいでカリキュラムを構想することの意義について理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

10. 近現代日本の教育課程のあゆみ⑥ —「生きる力」—

事前学修課題: 教育や子どものことについて書かれた岩波新書や中公新書などの新書本を読み、教科や学年をまたいでカリキュラムを構想することの意義について理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

11. 近現代日本の教育課程のあゆみ⑦ —「主体的・対話的で深い学び」—

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

12. 教育課程の編成① —構成要件・変遷・基本原則—

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

13. 教育課程の編成② —カリキュラム・マネジメント—

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

14. 教育課程と評価

事前学修課題: 児童館や子育て支援サークルなどでの保育ボランティアなど、たくさんの経験を積極的に積み、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義についての理解を深める。【1時間】

事後学修課題: 授業に関する疑問点を整理する。ニュースや新聞記事を学んだことをもとに読み解く。【1時間】

15. 試験およびまとめ

事前学修課題: 前回までの授業のレジュメをふりかえり、理解を深める。【1時間】

事後学修課題: まとめの内容をふりかえる。【1時間】

【学習のあり方】

教育者・保育者は子どもの育ちに責任があるということ、教育者・保育者である自身の行動が子どもに対して善悪交々の多大なる影響を与えることを自覚すること。その上で、子どもが育っていくことに自分がどのように関わっていくことができるのかを想定しながら、授業やグループワークに参加してください。

すべてに出席するのが原則です。遅刻・欠席は「参加度合」として不適切と判断します。健康管理や早めの行動を心がけてください。疑問や質問は授業中でも授業後でも必ずそのときに解決する習慣をつけましょう。

【成績評価】

課題提出などを含む授業への参加態度(20%)、試験(80%)をもとに総合的に評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

【テキスト】

レジュメおよび資料を配布する。

【参考文献】

授業中に適宜指示する。

【実務経験の有無】

| 授業科目名 | 授業形態 | 単位数 | 担当教員名 |
|-------|------|------|-------|
| 教育課程論 | 講義 | 2 単位 | 園田 雪恵 |

【ディプロマポリシーとの関連】

< 認知的領域(知識・理解) >

3. 保育者・教育者として、幅広い教養を身につけている。

【授業のテーマ及び到達目標】

「全体的な計画」とは何かについて考え、その意義について学ぶ。

到達目標

- ・幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針における保育カリキュラムの内容や編成方法及び手順について説明することができる。
- ・カリキュラム・マネジメントの意義について説明することができる。
- ・保育者としての資質向上の手がかりとして、PDCA サイクルについて説明することができる。
- ・子どもの姿を踏まえた指導計画を作成することができる。

【授業の概要】

幼稚園、認定こども園、保育所の「全体的な計画」について学ぶ。平成 30 年度から始まった新たな幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針から、各カリキュラムの構造を理解し、カリキュラム・マネジメントについて学ぶ。

【全体の授業計画・内容】

1. 幼児教育・保育の基本
 事前学修課題: テキストの第 1 章「幼児教育・保育の基本」を読んでおく。【1 時間】
 事後学修課題: 資料とともに「幼児教育・保育の基本」についてまとめる。【1 時間】
2. 教育・保育を計画するとは(「全体的な計画」について)
 事前学修課題: テキストの第 1 章「教育・保育を計画するとは」を読んでおく。【1 時間】
 事後学修課題: 指導計画の立案のポイントをまとめる。【1 時間】
3. カリキュラムの基本的な考え方
 事前学修課題: テキストの第 2 章「カリキュラムの基本的な考え方」を読んでおく。【1 時間】
 事後学修課題: 様々な保育カリキュラムの理論をまとめる。【1 時間】
4. 保育カリキュラムの歴史的変遷
 事前学修課題: テキストの第 2 章「保育カリキュラムの歴史的変遷」を読んでおく。【1 時間】
 事後学修課題: 各時代の保育カリキュラムについてまとめる。【1 時間】
5. 保育カリキュラムの現状と課題
 事前学修課題: テキストの第 2 章「保育カリキュラムの現状と課題」を読んでおく。【1 時間】
 事後学修課題: 保育カリキュラムの現状と課題をまとめる。【1 時間】
6. 幼稚園における「全体的な計画」の編成
 事前学修課題: テキストの第 3 章「幼稚園における教育課程の編成」を読んでおく。【1 時間】
 事後学修課題: 幼稚園の保育カリキュラムについてまとめる。【1 時間】
7. 保育所における「全体的な計画」の編成
 事前学修課題: テキストの第 3 章「保育所における「全体的な計画」の編成」を読んでおく。【1 時間】
 事後学修課題: 保育所の保育カリキュラムについてまとめる。【1 時間】

| |
|---|
| <p>8. 認定こども園における「全体的な計画」の編成</p> <p>事前学修課題:テキストの第3章「認定こども園における「全体的な計画」の編成」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:保育所の保育カリキュラムについてまとめる。【1時間】</p> |
| <p>9. 指導計画の作成と展開(長期指導計画と短期指導計画)</p> <p>事前学修課題:テキストの第4章「教育課程・全体的な計画と指導計画」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:長期指導計画と短期指導計画についてまとめる。【1時間】</p> |
| <p>10. 0、1、2歳児の指導計画</p> <p>事前学修課題:テキストの第4章「0、1、2歳児の指導計画」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:3歳未満児の保育カリキュラムについてまとめる。【1時間】</p> |
| <p>11. 3、4、5歳児の指導計画</p> <p>事前学修課題:テキストの第4章「3、4、5歳児の指導計画」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:3歳以上児の保育カリキュラムについてまとめる。【1時間】</p> |
| <p>12. 保育における食育計画及び保健計画</p> <p>事前学修課題:テキストの第4章「食育計画および保健計画」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:保育における食育計画及び保健計画についてまとめる。【1時間】</p> |
| <p>13. 小学校との連携と指導計画—幼児教育と小学校教育のつながり—</p> <p>事前学修課題:テキストの第4章「小学校との連携と指導計画」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:保育カリキュラムにおける幼児教育と小学校教育のつながりについてまとめる。【1時間】</p> |
| <p>14. 教育・保育の計画、実践及び評価—幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿から—</p> <p>事前学修課題:。テキストの第5章「教育・保育の計画、実践及び評価」を読んでおく。【1時間】</p> <p>事後学修課題:保育カリキュラムにおけるPDCAサイクルについてまとめる。【1時間】</p> |
| <p>15. 試験およびまとめ</p> <p>事前学修課題:これまでの授業で学んだことをまとめる。【1時間】</p> <p>事後学修課題:教育課程論における課題の確認を行う。【1時間】</p> |
| <p>【学習のあり方】</p> <p>ニュースや新聞などの子どもに関する記事に関心を示し、幅広く情報を得ておく。また、ホームページ上で公開されている保育施設のカリキュラムを見て、自分なりに、その園の保育内容について考察する習慣をつける。保育における「全体的な計画」について理解し、指導計画が立案できるようにする。</p> |
| <p>【成績評価】</p> <p>平常試験(50%)、ワークおよび提出物(50%)により総合的に判断する。</p> |
| <p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>授業で配布するコメントシートに授業に対する疑問点や質問を記入し、次回の授業にて解説することによりフィードバックを行う。</p> |
| <p>【テキスト】</p> <p>戸江茂博編『保育カリキュラムの基礎理論—教育課程・全体的な計画の学び』あいり出版</p> |
| <p>【参考文献】</p> <p>文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館</p> <p>内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館</p> <p>厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館</p> |

【実務経験の有無】

幼稚園における保育者としての経験をいかし、保育カリキュラムの理論と作成方法を指導する。また、小学校教諭としての経験から、幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿を基に、幼小接続期のカリキュラムの理論と実践について講義を行う。